

告示	番号	40	免疫疾患
	疾病名	慢性活動性 EB ウイルス感染症	

## 慢性活動性 EB ウイルス感染症

まんせいかつどうせいいーびーういるすかんせんしょう

### 概念・定義

遷延あるいは再発する伝染性単核症(infectious mononucleosis;IM)様症状を示し、末梢血および病変組織に高レベルのEBV DNA が検出される疾患である。EBV 感染 T あるいはNK 細胞がモノクローナルあるいはオリゴクローナルに増殖し高サイトカイン血症を呈する。症状と障害臓器は多岐にわたり、予後不良である。

### 症状

1. 発熱
2. リンパ節腫脹
3. 肝脾腫
4. 発疹
5. 間質性肺炎
6. 間質性腎炎
7. ぶどう膜炎

## 8. 冠動脈瘤 など

### 合併症

1. 多臓器不全
2. 血球貪食症候群
3. 悪性リンパ腫
4. 蚊刺過敏症
5. 種痘様水疱症 など

### 治療

抗ウイルス薬（アシクロビル、ガンシクロビル、ピダラビン）、免疫賦活療法（IFN- $\alpha$ 、IL-2、 $\gamma$  グロブリン大量療法）、細胞療法、免疫抑制療法（ステロイド、シクロスポリン A）、など、さまざまな治療法が試みられているが効果は不十分である。現段階では唯一の根治療法は造血幹細胞移植であるが、すべてに患者に推奨されるものではない

抜粋元：[http://www.shouman.jp/details/10\\_9\\_53.html](http://www.shouman.jp/details/10_9_53.html)